(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)公表番号
特表2022-525583
(P2022-525583A)
(43)公表日　令和4年5月18日(2022.5.18)

(51)国際特許分類			FI			テーマコード（参考）
Ｂ６５Ｄ	*83/00*	*(2006.01)*	Ｂ６５Ｄ	83/00	Ｋ	３Ｅ０１４
Ｂ６５Ｄ	*77/04*	*(2006.01)*	Ｂ６５Ｄ	77/04	Ａ	３Ｅ０６７

審査請求　未請求　予備審査請求　未請求　（全18頁）

(21)出願番号　特願2021-543540(P2021-543540)
(86)(22)出願日　令和2年1月27日(2020.1.27)
(85)翻訳文提出日　令和3年9月1日(2021.9.1)
(86)国際出願番号　PCT/FR2020/050122
(87)国際公開番号　WO2020/157422
(87)国際公開日　令和2年8月6日(2020.8.6)
(31)優先権主張番号　1900733
(32)優先日　平成31年1月28日(2019.1.28)
(33)優先権主張国・地域又は機関
フランス(FR)
(81)指定国・地域　AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,
最終頁に続く

(71)出願人　521330574
シセイドウ インターナショナル フランス
フランス　７５００１　パリ　リュ　ドゥ　ヴァロワ　２５
(74)代理人　110001900
特許業務法人　ナカジマ知的財産綜合事務所
(72)発明者　スーラール　ファブリス
フランス　４５４５０　ファイ　オー　ロジュ　ラ　ドロンド　６
(72)発明者　シモン　ブルーノ
フランス　４５１４０　ブレ　レバール　ルート　ドルレアン　２２

Ｆターム（参考）　3E014　PA01 PB01 PC02 PC03 PC08 PC11 PD11 PE01
最終頁に続く

(54)【発明の名称】　流体ディスペンサーアセンブリ

(57)【要約】
【課題】デュアルアセンブリでも、ソース／ノマディックアセンブリでもない、別のタイプのディスペンサーアセンブリを規定する。
【解決手段】流体ディスペンサーアセンブリは、第１の吐出ヘッド（１５）および第１のプッシャー（１４）のような第１の吐出部材（１４）と、第１のリザーバー（１１）を有する第１の液体ディスペンサー（１）と、ポンプのように、第２の吐出ヘッド（２４）および第２のプッシャー（２６）を有する第２の吐出部材（２４）と、第２のリザーバー（２１；２１'；２１ｃ）と、を有する第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）と、を備え、第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）を第１の液体ディスペンサー（１）に着脱可能に装着することによって、第１の液体ディスペンサー（１）と第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）との一方の作動が抑止される。
【選択図】図１

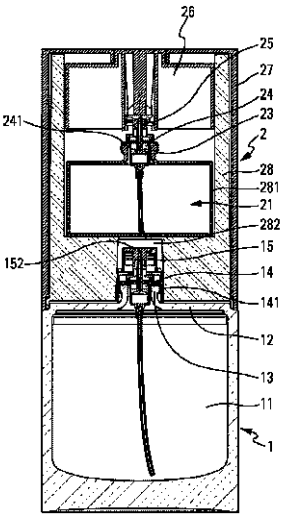


Fig. 1

【特許請求の範囲】
【請求項１】
流体ディスペンサーアセンブリであって、
第１の吐出ヘッド（１５）および第１のプッシャー（１４）のような第１の吐出部材（１４）と、第１のリザーバー（１１）を有する第１の液体ディスペンサー（１）と、
ポンプのように、第２の吐出ヘッド（２４）および第２のプッシャー（２６）を有する第２の吐出部材（２４）と、第２のリザーバー（２１；２１'；２１ｃ）と、を有する第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）と、を備え、
第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）を第１の液体ディスペンサー（１）に着脱可能に装着することによって、第１の液体ディスペンサー（１）と第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）との一方の作動が抑止され、
第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）の第２のリザーバー（２１；２１'；２１ｃ）の容量が、第１の流体ディスペンサー（１）の第１のリザーバー（１１）の容量よりもはるかに小さく、
第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）は外部シェル（２７）を有し、
外部シェル（２７）は、下端が大きく開口し、第２のプッシャー（２６）を通過させるためのノッチ（２７２）を有すると共に、吐出オリフィス（２４１）用の窓（２７１）を有し、
第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）はさらに挿入部品（２８；２８'；２８ａ；２８ｃ）を有し、
挿入部品（２８；２８'；２８ａ；２８ｃ）は、外部シェル（２７；２７'；２７ａ；２７ｃ）と係合して、外部シェル（２７；２７'；２７ａ；２７ｃ）と共に内部空間（２８１；２８１'；２８１ａ）を形成し、
内部空間（２８１；２８１'；２８１ａ）内には第２のリザーバー（２１；２１'；２１ｃ）と共に、収容ハウジング（２８２；２８２'；２８２ａ）が配設され、収容ハウジング（２８２；２８２'；２８２ａ）内には第１の流体ディスペンサー（１）の吐出部材（１４）が収容され、
第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）は第１の流体ディスペンサー（１）の外形、特に第１のリザーバー（１１）の外形に一体化することによって、第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）は、第１の流体ディスペンサー（１）の頂部を覆う単なる保護カバーのような外観を有し、
開口部（２７２）および窓（２７１）から当該保護カバーがディスペンサーとして機能すると理解される
ことを特徴とする流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項２】
前記第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）は、摩擦またはスナップ嵌めによって、前記第１のディスペンサー（１）上に保持され、前記第１の吐出ヘッド（１５）および前記第１のプッシャー（１５２）を覆う
ことを特徴とする請求項１に記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項３】
前記第１の吐出部材（１４）は、固定リング（１４１）によって前記第１のリザーバー（１１）に装着され、
前記第２の流体ディスペンサー（２；２'；２ａｂ；２ｃ）は、前記固定リング（１４１）と着脱可能に係合する
ことを特徴とする請求項１または２に記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項４】
前記第２のリザーバー（２１；２１'；２１ｃ）は、前記外部シェル（２７；２７'；２７ａ；２７ｃ）内に手動によって着脱可能に装着される
ことを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項５】

前記挿入部品（２８；２８'；２８ｃ）は、前記外部シェル（２７；２７'；２７ｃ）に手動によって着脱可能に装着され、好ましくは前記収容ハウジング（２８２；２８２'）が把持されることによって着脱され、前記第２のリザーバー（２１；２１'；２１ｃ）から引き抜くことができるようになっている
ことを特徴とする請求項４に記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項６】
前記第２の流体ディスペンサー（２ａｂ）は、前記第２のリザーバー（２１）を組み込んだ底部（２ａ）と、前記第２の吐出部材（２４）を組み込んだ頂部（２ｂ）とを有し、
前記第２のリザーバー（２１）はネジ山付きネック（２３ａ）を有し、
前記第２の吐出部材（２４）はネジ山付きネック（２３ａ）と係合するネジ式固定リング（２４１ｂ）を有し、
ネジを緩めて前記底部（２ａ）および頂部（２ｂ）を分離すると、前記第２のリザーバー（２１ｃ）にアクセスして、前記底部（２ａ）から前記第２のリザーバーを取り出すことができる
ことを特徴とする請求項４に記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項７】
前記収容ハウジング（２８２'）は前記内部空間（２８１'）と直接連通し、
前記挿入部品（２８'）の前記収容ハウジング（２８２'）を経由して、前記第２のリザーバー（２１'）を取り外すことができる
ことを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項８】
第２の吐出部材（２４；２４'）は、第２のリザーバー（２１；２１'；２１''）に着脱可能に装着され、
好ましくは第１の吐出部材（１４；１４''）が第１のリザーバー（１１；１１''）に着脱可能に装着されることによって、
第２のリザーバー（２１；２１'；２１''）を第１のリザーバー（１１；１１''）で充填することができる
ことを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項９】
前記第２のリザーバー（２１'）は充填弁（２９）を有する
ことを特徴とする請求項１から８のいずれかに記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【請求項１０】
前記第２のリザーバー（２１ｃ）には、プラグ（２８９）によって閉鎖される開口部（２９ｃ）が設けられ、
好ましくは前記プラグ（２８９）が前記挿入部品（２８ｃ）によって形成されている
ことを特徴とする請求項１から９のいずれかに記載の流体ディスペンサーアセンブリ。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、２つの流体ディスペンサーを備えた流体ディスペンサーアセンブリであって、各流体ディスペンサーは、リザーバーと、ポンプ等の吐出部材を備え、吐出部材はプッシャーと吐出オリフィスとを一体化する等した吐出ヘッドを備える流体ディスペンサーアセンブリに関する。本発明の好ましい適用分野は香料の分野であるが、化粧品の分野にも適用することができる。
【背景技術】
【０００２】
従来技術では、例えば「デュアル」ディスペンサーのような２つのディスペンサーを組み込んだディスペンサーアセンブリがある。このタイプの「デュアルディスペンサー」アセンブリは、一般的に、２つのリザーバーと、２つの吐出部材と、共用の吐出ヘッドを備える。吐出ヘッドは、２つの別個の吐出オリフィスを備えるか、または１つの共通の吐出オ

リフィスを備える。このタイプのデュアルディスペンサーアセンブリは、吐出ヘッドのレベルと、吐出オリフィスの出口とのどちらか一方で、２つの異なる流体製品を混合するために使用される。もちろん、これらのデュアルディスペンサーアセンブリの目的は、２つのディスペンサーを同時にまたは連続して作動させることができるようにすることである。

【０００３】

従来技術では、２つのディスペンサーを備える別のタイプのディスペンサーアセンブリもある。これらの従来技術は、通常、「ノマディック」という用語で呼ばれており、再充填可能なディスペンサーを付属した供給元ボトルを備えたアセンブリである。充填バルブを備えたノマディックディスペンサーは、供給元ボトルの作動ロッドに取り付けることによって、ノマディックディスペンサーのリザーバーを充填することができる。言い換えれば、ノマディックディスペンサーは、供給元ディスペンサーを作動させるために使用される。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

本発明は、デュアルアセンブリでも、ソース／ノマディックアセンブリでもない、別のタイプのディスペンサーアセンブリを規定することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

このため、本発明に係る流体ディスペンサーアセンブリは、第１の流体ディスペンサーと、第２の流体ディスペンサーと、を備え、前記第１の流体ディスペンサーは、第１のリザーバーと、第１の吐出ヘッドと第１のプッシャーとを備えるポンプなどの第１の吐出部材と、を有し、前記第２の流体ディスペンサーは、第２のリザーバーと、第２の吐出ヘッドと第２のプッシャーとを備えるポンプなどの第２の吐出部材と、を有し、前記第２の流体ディスペンサーは、前記第１および第２の流体ディスペンサーのうちの一方の作動を阻止するように、第１の流体ディスペンサーに着脱可能に取着されており、前記第２のリザーバーの容量は、前記第１のリザーバーの容量よりもはるかに小さく、前記第２の流体ディスペンサーは、シェルと、前記第２のプッシャーの通路用のノッチと、吐出オリフィス用の窓部を有し、前記シェルは、その下端で大きく開口しており、前記第２の流体ディスペンサーは更に挿入部品を備え、前記挿入部品は、前記シェルの内側に係合することによって、前記第２のリザーバーが配置される内部空間を形成するとともに、前記第１の流体ディスペンサーの吐出部材を受け容れる受け容れハウジングを構成し、前記第２の流体ディスペンサーは、前記第１の流体ディスペンサーの形状と一体化されており、特に、前記第１の流体ディスペンサーの形状に、前記第２の流体ディスペンサーは、単純な保護キャップとして、前記第１の流体ディスペンサーの上部を覆い、当該保護キャップは、前記ノッチおよび前記窓のみによって流体ディスペンサーとして作用することを特徴とする。

【発明の効果】

【０００６】

したがって、明らかにデュアルアセンブリおよびノマディックソースアセンブリは除外される。２つの流体ディスペンサー間の構造的リンクは着脱可能な接続になっており、着脱可能な接続はデュアルアセンブリでは見られないものである。ソース／ノマディックアセンブリであっても、唯一の一時的な接触点がソースボトルの作動ロッドの自由端であることを考えると、ソースボトルにノマドを取り付けることは大したことではない。一方、本発明のアセンブリは、新規な機能、殊に、一方の流体ディスペンサーを用いて他方の流体ディスペンサーの作動を防止するという機能を実行する。これは、デュアルアセンブリおよびノマディックソースアセンブリの場合には明らかに当てはまらない。しかしながら、本発明のアセンブリは、２つの流体ディスペンサーを緊密に組み付けるので、ユーザーはこれらが分解してしまう恐れなく取り扱うことができる。

【０００７】

第２の流体ディスペンサーは、摩擦やスナップ嵌めによって、または、ネジ止めや磁化によって、第１の吐出ヘッドおよび第１のプッシャーを覆うように、第１の流体ディスペンサー上に保持されるので、第１の流体ディスペンサーのための保護キャップを形成する。外観に着目すれば、第２の流体ディスペンサーは外観上、単純な保護キャップに似ていてもよく、ユーザーが、このキャップが追加のノマディックまたは補助ディスペンサーとしても機能することに後から気付くのでもよい。

【０００８】

実用的な実施の形態として、第２の流体ディスペンサーはシェルを備え、第２のリザーバーは、このシェルから手動で引き出すことができるように、取脱可能にシェルに取り付けられている。したがって、第２のリザーバーは、シェル内に配置される前に、交換されてもよく、または単に充填されてもよい。有利には、第２の流体ディスペンサーは、さらに、シェル内に受け入れられる挿入部品を備えてもよい。該挿入部品は、該シェルとともに第２のリザーバーの内部空間と、第１の吐出ヘッドの収容ハウジングと、を形成する。この挿入部品は、第２のプッシャーを案内するために使用することもできる。

【０００９】

本発明の有利な特徴によれば、挿入部品はシェル内に取り外し可能に取り付けることができる。これによって、シェルから挿入部品を引き出せるようになり、有利には、それを収容ハウジングで把持して、第２のリザーバーを引き出すことができる。換言すれば、第２の流体ディスペンサーはほぼ完全に取り外し可能になっており、その交換またはその充填のために第２のリザーバーを取り外すことができる。変形例としては、収容ハウジングは内部空間と直接連通してもよい。このようにすれば、挿入部品の収容ハウジングを経由して、第２のリザーバーを引き抜くことができるようになる。この場合において、挿入部品をシェルから取り出す必要はない。

【００１０】

別の有利な実施の形態では、第２の流体ディスペンサーは、第２のリザーバーを一体化した底部と、第２の吐出部材を一体化した頂部とを備え、第２のリザーバーはネジ山付きネックを備え、第２の吐出部材は第２のリザーバーのネジ山付きネックと螺合してネジ留めされる固定リングを備えてもよい。このようにすれば、ネジを緩めて頂部から底部を分離すれることができるので、第２のリザーバーにアクセスして、第２のリザーバーを底部から引き出すことができる。

【００１１】

本発明の別の有利な態様では、第２の吐出部材を第２のリザーバーに取り外し可能に取り付け、第１の吐出部材を第１のリザーバーに取り外し可能に取り付けてもよい。このようにすれば、第１のリザーバーを用いて第２のリザーバーを充填することができる。この場合、本発明のアセンブリは、ソース／ノマディックアセンブリと同様に、第１の流体ディスペンサーのリザーバーの容量が第２の流体ディスペンサーのリザーバーの容量よりもはるかに大きいのが望ましい。

【００１２】

別の実用的な実施の形態では、第１の吐出部材は、固定リングを用いて第１のリザーバーに取り付けてもよく、このようにすれば第２の流体ディスペンサーを固定リングと取り外し可能に係合させることができる。変形例として、第２の流体ディスペンサーを第１の流体ディスペンサーの第１のリザーバーに直接取り付けてもよい。

【００１３】

しかしながら、ソース／ノマディックアセンブリの観点では、第２のリザーバーに充填バルブが設けられていると考えることもできる。したがって、第１の流体ディスペンサーまたは別の流体ディスペンサーによって補充することができる。変形例として、第２のリザーバーはプラグによって閉鎖された開口部を備えてもよく、このプラグは挿入部品によって形成されるのが好適である。

【００１４】

別の特に美的な実施の形態では、第１のリザーバーはニッチを形成してもよい。第２の流

体ディスペンサーが取り外し可能に受け入れられるニッチを形成すれば、第２の吐出ヘッドを覆ったり、更には第２のプッシャーを覆ったりすることができる。したがって、第２の流体ディスペンサーは、第１の流体ディスペンサーの第１のリザーバーによって完全に囲まれてもよい。第２の流体ディスペンサーは、摩擦やスナップ嵌めによってニッチに保持することができる。第２のプッシャーは見ることができるが、吐出ヘッドのレベルに形成された吐出オリフィスの閉鎖によって、流体の吐出は防止される。「ニッチ」とは、リザーバーによって形成された凹部、窪み、スロット、ノッチ、ハウジング、キャビティ、穴、通路、トンネル、貫通路、またはブラインドを意味する。これらは、単一部品として、またはガラス、プラスチック材料、金属などからなるいくつかの部品として形成されるのが望ましい。

【００１５】

留意すべきは、第２の流体ディスペンサーのためのニッチを形成したリザーバーは、それ自体、すなわち、一方の流体ディスペンサーの取り外し可能な取り付けると、当該一方の流体ディスペンサーの作動や、他方の流体ディスペンサーの作動を防止されるということとは無関係に、保護の対象を形成することができることである。

【００１６】

本発明の範囲は、第２の流体ディスペンサーを、一般に従来の構成を保持することができる第１の流体ディスペンサーと慎重に一体化することにある。その目的は、第２の流体ディスペンサーができるだけ見えないようにすることである。第２の流体ディスペンサーの第２のリザーバーの容量は、第１の流体ディスペンサーの第１のリザーバーの容量よりもはるかに小さいのが好ましい。これにより、第１の流体ディスペンサーよりもはるかに小さいサイズの第２の流体ディスペンサーを製造することが可能になる。第２の流体ディスペンサーは、第１の流体ディスペンサーの上方に配置してもよい。または反対に、第１の流体ディスペンサーの下方に配置し、例えば、ベースまたはベースプレートに一体化してもよい。第２の流体ディスペンサーは、第１の流体ディスペンサーのリザーバーに一体化することもできる。第２の流体ディスペンサーが、その作動または他の流体ディスペンサーの作動を阻止することによって、第１の流体ディスペンサーに取り外し可能に取り付けられている限り、多数の変形が可能である。

【図面の簡単な説明】

【００１７】

【図１】本発明の第１の実施の形態に係る吐出ヘッドの垂直面に沿った垂直横断面図である。

【図２】本発明の第１の実施の形態に係る吐出ヘッドの垂直面に沿った垂直横断面図である。

【図３】図１および図２の流体ディスペンサーの分解斜視図である。

【図４】本発明の第２の実施の形態において図１に相当する図である。

【図５】本発明の第３の実施の形態において図１および図４に相当する図である。

【図６】第４の実施の形態に係る流体ディスペンサーアセンブリを通る垂直横断面図である。

【図７】図６の流体ディスペンサーアセンブリの第２の流体ディスペンサーを通る横断面図である。

【図８】（ａ）および（ｂ）は、変形例において図１および図２に相当する図である。

【図９】他の実施の形態に係る第２の流体ディスペンサーの概略図である。

【発明を実施するための形態】

【００１８】

本発明は、非限定的な例として本発明の４つの実施の形態を示す添付の図面を参照して、以下により完全に説明される。

【００１９】

まず、本発明に係る流体ディスペンサーアセンブリの第１の実施の形態を詳細に説明するために、図１～図３を参照する。これは、第１の流体ディスペンサー１および第２の流体

ディスペンサー２を含む。本発明によれば、第２の流体ディスペンサー２は、第１の流体ディスペンサー１に取り外し可能に取り付けられる。
換言すれば、第２の流体ディスペンサー２を第１の流体ディスペンサー１から取り外すことができる。
【００２０】
第１の流体ディスペンサー１は、香料または化粧品の分野における従来の構成そのままを有する。それは、例えば、ガラス、プラスチック材料、金属等のような任意の適切な材料で作ることができる第１のリザーバー１１を含む。第１のリザーバー１１は、上部肩部１２を有し、そこからネック１３が突出する。ネック１３は、減少した断面の開口部を画定する。ポンプまたはバルブのような吐出部材１４が、ネック１３の開口部に、固定リング１４１によって、固定され密封された状態で取り付けられている。固定リングは、例えば、ネジ止めされるリングである。また、圧着リングやスナップ嵌めリングを用いてもよい。吐出部材１４には、吐出ヘッド１５が設けられている。吐出ヘッド１５は、吐出オリフィス１５１とプッシャー１５２との両方が組み込まれている。本発明の範囲から離れることなく、吐出オリフィスを固定し、プッシャーから切り離すことも考えることができる。絶対的に従来の方法では、吐出ヘッド１５は、吐出部材１４の作動ロッド上に取り付けられ、内部供給チャネルを一体化する。内部供給チャネルは吐出オリフィス１５１に接続される。吐出オリフィス１５１は、例えば、噴霧を生成することができるノズルからなる。プッシャー１５２を軸方向に押すことによって、吐出部材１４が作動すると、流体が加圧され、作動ロッドおよび吐出ヘッドを経由して、最終的に吐出オリフィス１５１から吐出される。
【００２１】
第２の流体ディスペンサー２は、第１の流体ディスペンサーと比較して従来技術から遠い。それはまた、ネック２３を形成するリザーバー２１が組み込まれており、その中に、ポンプやバルブのような第２の吐出部材２４が固定リング２４１によって取り付けられている。固定リング２４１は、例えば、ネジ留め、クリンプ留め、またはスナップ嵌めされる。第２の吐出部材２４は、空気注入口の有無を問わず、ポンプであってもよい。この吐出部材２４は、吐出オリフィス２５１を形成する吐出ヘッド２５を備えている。吐出ヘッド２５にはプッシャー２６が取り付けられる。これによって、吐出部材２４を作動させると、吐出ヘッド２５を経由して、最後的にはその吐出オリフィス２５１を経由して、流体が吐出される。第２の流体ディスペンサー２はまた外部シェル２７を備える。外部シェル２７は、下端の大部分が開放しており、上端にはノッチまたは開口２７２をその上端に有することによって、プッシャー２６の一部を通す。したがって、外部シェル２７は、吐出オリフィス２４１のための窓２７１を形成する。第２の流体ディスペンサー２は更に挿入部品２８を備える。挿入部品２８は外部シェル２７の内側に係合し、任意の適切な手段によって所定の位置に保持される。挿入部品２８は、外部シェル２７と共に内部空間２８１および収容ハウジング２８２を形成する。内部空間２８には第２のリザーバー２１が配置される。また、収容ハウジング２８２はネック１３、吐出部材１４、および吐出ヘッド１５を収容する。挿入部品２８は、プッシャー２６を軸方向に案内するために用いてもよい。
【００２２】
第２の流体ディスペンサー２は、例えば固定リング１４１と係合することによって、第１の流体ディスペンサー１上に取り外し可能に保持される。例えば、収容ハウジング２８２の内壁は、固定リング１４１の外壁と摩擦接触してもよい。簡単なスナップ嵌めでもよい。ネジ止めや磁化によって保持してもよい。変形例として、または上記の実施例に加えて、外部シェル２７および／または挿入部品２８が、例えば、肩部１２の周囲で、第１のリザーバー１１とスナップ嵌め摩擦係合してもよい。本発明によれば、挿入部品２８は、外部シェル２７の内側に取り外し可能に取り付けられるので、挿入部品２８の一部を外部シェル２７から引き出すことができる。実際には、収容ハウジング２８２を使用して、挿入部品２８（フィンガーの通路）をしっかりと把持すれば、それを外部シェル２７から外すことができる。挿入部品２８は、単に、外部シェル２７の内側との摩擦によって保持して

もよいし、或いは簡単なスナップ嵌めによって保持してもよい。したがって、吐出部材２４が取り付けられた第２のリザーバー２１にアクセスできる。したがって、固定リング２４１が取り外し可能である場合には、第２のリザーバー２１を交換または充填することができる。交換または充填後、第２のリザーバー２１を収めた挿入部品２８は、第２の流体ディスペンサー２を再構成するために、再び外部シェル２７の内側に挿入される。

【００２３】

吐出部材２４を第２のリザーバー２１から取り外すことができる場合には、第１のリザーバー１１から取り外すことができる固定リング１４１を設けてもよい。このようにすれば、第２のリザーバー２１を第１のリザーバー１１で充填することができる。実際、図１では、第１のリザーバー１１の容量が第２のリザーバー２１の容量よりもかなり大きいことが容易にわかる。例えば、第１のリザーバー１１は、約５０ｍｌ～約２００ｍｌの容量を有することができ、第２のリザーバー２１は、約１０ｍｌの容量を有することができる。

【００２４】

図２を参照すると、第２の流体ディスペンサー２は、第１の流体ディスペンサー１の形状、特に第１のリザーバー１１の形状と一体化していることが分かる。

一見すると、第２の流体ディスペンサー２は、第１の流体ディスペンサー１の上部を覆う単純な保護キャップに似ていてもよい。プッシャー２６用のノッチ２７２および吐出オリフィス２４１用の長窓２７１のみが、この特定のキャップが流体ディスペンサーとして機能すると理解するのを可能にする。図４には、第１の実施の形態を変形した第２の実施の形態が示されている。第１の流体ディスペンサー１は、第１の実施の形態に係る第１の流体ディスペンサー１と実質的にまたは完全に同一であり得る。第２のディスペンサー２'のみが、第１の実施の形態の第２の流体ディスペンサー２とは異なる。特に、第２のリザーバー２１'を収容する内部空間２８１'は、第１の流体ディスペンサー１の上部を収容する収容ハウジング２８２'と広く連通していることが分かる。従って、第２のリザーバー２１'を、その吐出部材２４と共に、外部シェル２７'の内側に埋め込まれた挿入部品２８'から引き出すことが可能である。したがって、第２のリザーバー２１'を交換または充填することができる。この目的のために、第２のリザーバー２１'は、流体を第２のリザーバー２１'内に注入するための充填弁２９を含んでもよい。例えば、第１の流体ディスペンサー１から吐出ヘッドを取り外すことによって、作動ロッドとの係合を解除できてもよい。このようにすれば、第１の流体ディスペンサー１の作動ロッドを充填弁２９の入口に係合させることによって、第２のリザーバー２１'を第１の流体ディスペンサー１に戻すことができる。吐出部材２４は、第２のリザーバー２１'に凹部が形成されるように、エアレスポンプ、すなわち、空気取り入れ口のないものとすることができる。この凹部は、弁２９を介して第２のリザーバー２１'を充填するのを容易にするために使用することができる。

【００２５】

第２の流体ディスペンサー２'は、第１のリザーバー１１のレベルで、より具体的には肩部１２の外周のレベルで、スナップ嵌め、クランプまたは摩擦によって、第１の流体ディスペンサー１に取り外し可能に接続することができる。図５は、第１の流体ディスペンサー１''が、第２の流体ディスペンサー２''のリザーバー２１''よりもはるかに小さい容量を有する第１のリザーバー１１''を有する第３の実施の形態を示している。２つの流体ディスペンサー１''および２''は、適合部２８''によって取り外し可能な方法で互いに接続されている。適合部２８''は、第２のリザーバー２１''の下部の周りにしっかりと係合された上部スリーブ２８３と、第１のリザーバー１１''に当接するか、または第１のリザーバー１１''の外壁に外部からクランプされる下部スカート２８４と、吐出部材１４''の固定リング１４１と取り外し可能な摩擦係合またはスナップ嵌合するスリーブ２８５とを備える。

【００２６】

この第３の実施の形態では、第２の流体ディスペンサー２''は、香料ディスペンサーとして全く従来と同様の構成を有することができ、一方、第１の流体ディスペンサー１''は

、特定の設計、特に平坦化された設計を有する。外観上、第２の流体ディスペンサー２''はまったく従来と同様とユーザーの目には映るものの、第１の流体ディスペンサー１''を一体化したベースプレート又はベースを備えている。一見しただけでは、流体ディスペンサー２''のベースプレート又はベースの中に流体ディスペンサー１''があるとはユーザーには分からない。

【００２７】

吐出部材１４''および２４はそれぞれ、第２のリザーバー２１''に貯留されている流体を第１のリザーバー１１''に充填することができるように、それぞれのリザーバー１１''および２１''に取り外し可能に取り付けられてもよい。

【００２８】

図６および図７は、第４の特に元の実施の形態を示す。実際、第２の流体ディスペンサー２'''は、ここでは、第１の流体ディスペンサー１'''の第１のリザーバー１１'''の内側に嵌め込まれて保持される。このために、第１のリザーバー１１'''には、貫通またはブラインドニッチ１２'''が形成されており、その形状は円形である。しかし、他の形状でもよい。第２の流体ディスペンサー２'''もまた円形になっており、このブラインドニッチ１２'''の内側に取り外し可能に埋め込まれている。第２の流体ディスペンサー２'''は、例えば、吐出ヘッド２１'''およびプッシャー２２'''を備え、更に充填プラグ２３'''をオプション追加することができるリザーバーで形成してもよい。ここで、吐出ヘッド２１'''は例えばノズル形状であってもよく、プッシャー２２'''は変形可能な作動壁の形状であってもよい。第２の流体ディスペンサー２'''は、ニッチ１２'''の内側に埋め込まれた状態で、その吐出ヘッド２１'''がニッチ１２'''の内側壁で覆われたり、さらに閉鎖されたりした場合には、もはや使用することができない。ニッチ１２'''が第１の流体ディスペンサー１'''を貫通しない場合には、プッシャー２２'''をニッチの内側に配置すると、ニッチ１２'''の内部に配置された第２のディスペンサー２'''にはもはやアクセスすることができなくなる。

【００２９】

リザーバーブランクはプレス加工によって、２つの対向するニッチを分離する共通の壁を形成してもよい。これらのニッチは、対称であってもよいし、対称でなくてもよい。これにより、ディスペンサー２'''を各ニッチ１２'''に挿入することが可能になる。２つのニッチは、例えばウォータージェットによって共通壁を除去することによって連通させることもできる。この技術は、１つのシングルスルーニッチを作るために使用することができる。

【００３０】

図８ａおよび８ｂは、図１～３に示す第１の実施の形態の変形例を示している。第１の流体ディスペンサー１は、第１の実施の形態に係る第１の流体ディスペンサーと実質的にまたは完全に同一であり得る。第２の流体ディスペンサー２ａｂは、第１の実施の形態に係る第２の流体ディスペンサー２と異なる。実際、第２の流体ディスペンサー２ａｂは、第２のリザーバー２１が組み込まれた底部２ａと、第２の吐出部材２４が組み込まれた頂部２ｂとを備える。第２のリザーバー２１は、ネジ付きネック２３ａを備え、第２の吐出部材２４は、ネジ付き固定リング２４１ｂを備える。ネジ付き固定リング２４１ｂを第２のリザーバー２１のネジ付きネック２３ａと係合させれば、当該ネジ留めを緩めることによって、底部２ａと頂部２ｂとを分離し、第２のリザーバー２１にアクセスして、底部２ａから引き出すことができる。より具体的には、底部２ａは下部シェル２７ａを備える。底部シェル２７ａ内には底部挿入部品２８ａが係合する。底部挿入部品２８ａは、底部シェル２７ａと共に、第２のリザーバー２１のための空間２８１を形成するとともに、第１の流体ディスペンサー１のネック１３とポンプ１４のための収容ハウジング２８２を形成する。頂部２ｂは頂部シェル２７ｂを備える。頂部シェル２７ｂ内には頂部挿入部品２８ｂが係合する。頂部挿入部品２８ｂは、プッシャー２６を案内するとともに、固定リング２４１ｂと係合する。これによって、ネジ山を切ったネック２３ａに固定リング２４１ｂをネジ止めしたり、ネック２３ａから固定リング２４１ｂを外したりすることができるよう

になる。本実施の形態では、挿入部品２８ａ及び２８ｂは、それぞれのシェル２７ａ及び２７ｂに除去不能に取り付けることができる。

【００３１】

図９は第２の流体ディスペンサー２ｃの別の実施の形態を示す。第２の流体ディスペンサー２ｃは、第２のリザーバー２１ｃがプラグ２８９によって閉鎖される充填開口２９ｃを備える点で他の実施の形態と区別される、好ましくは、このプラグ２８９が挿入部品２８ｃによって形成され、挿入部品２８ｃはシェル２７ｃに着脱可能に取り付けられる。

【００３２】

上記全ての実施の形態においては、流体ディスペンサーを着脱可能に他の流体ディスペンサーに取り付けることによって、当該流体ディスペンサーや当該他の流体ディスペンサーの作動を防止することができる。したがって、これら実施の形態に係るディスペンサーアセンブリは、二重ディスペンサーでなければ、明らかにソース／ノマディックディスペンサーでもなく、むしろ、図１～５および８ａ、８ｂおよび９に示す実施の形態に係る「プルアウト」ディスペンサーであり、また、図６および７に示す最後の実施の形態における「カンガルー」ディスペンサーでもあることを特徴とする。

【産業上の利用可能性】

【００３３】

本開示に係る流体ディスペンサーアセンブリは、２つの流体ディスペンサーを備えた装置として有用である。

【符号の説明】

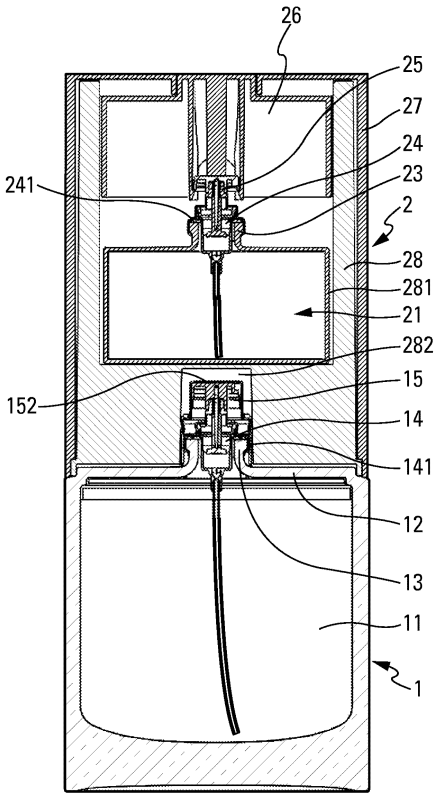
【００３４】

１…第１の流体ディスペンサー

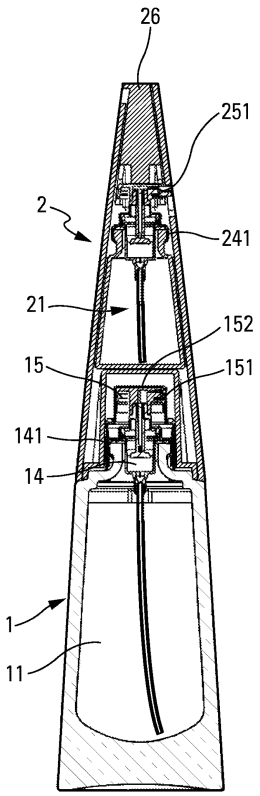
２…第２の流体ディスペンサー

【図面】

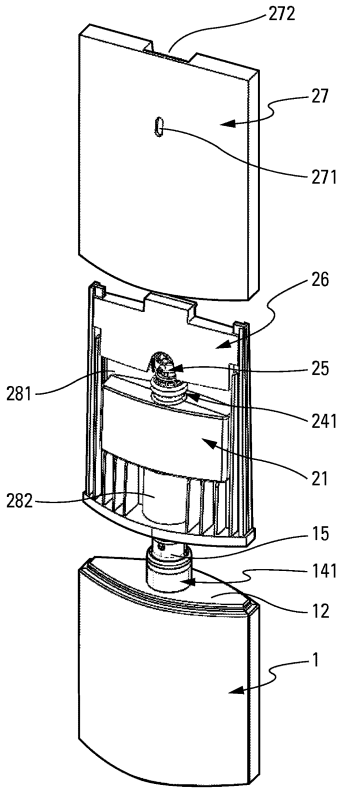
【図１】



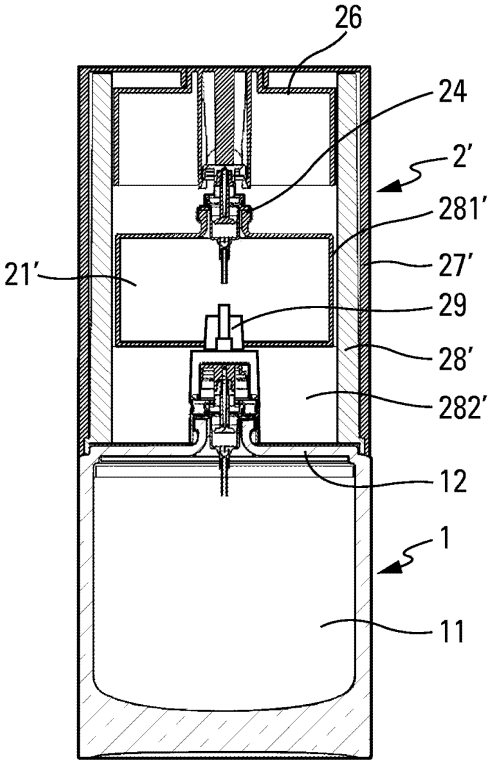
【図２】



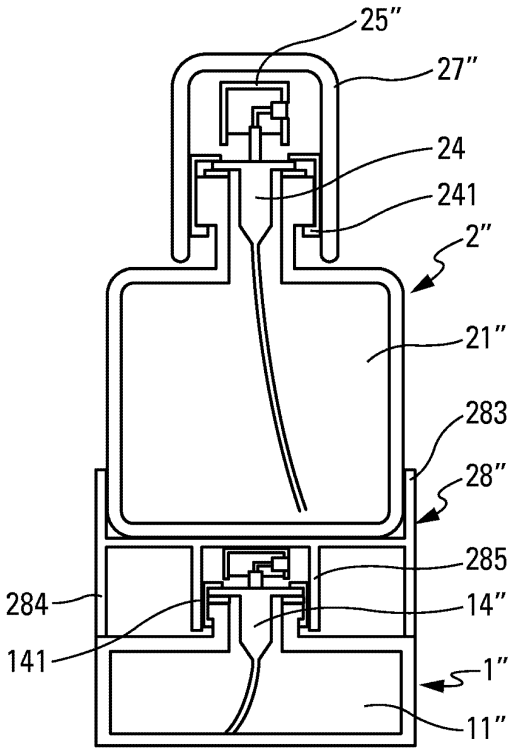
【図３】


272
27
271
26
25
281
241
21
282
15
141
12
1

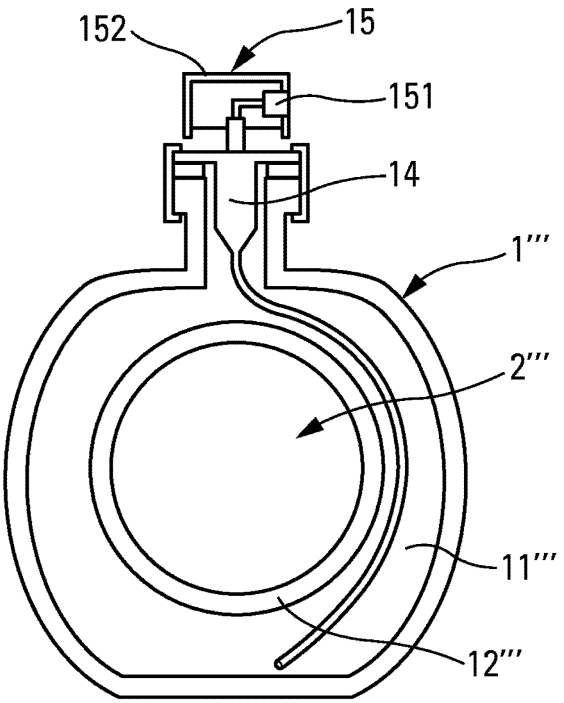
【図４】


26
24
2'
281'
27'
21'
29
28'
282'
12
1
11

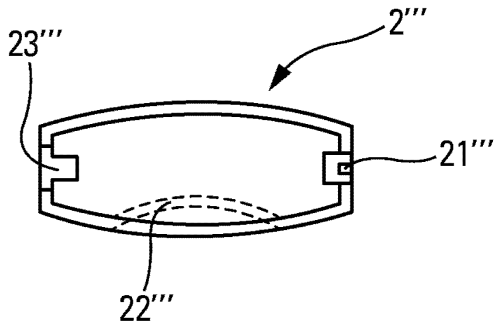
【図５】


25″
27″
24
241
2″
21″
283
28″
285
284
14″
141
1″
11″

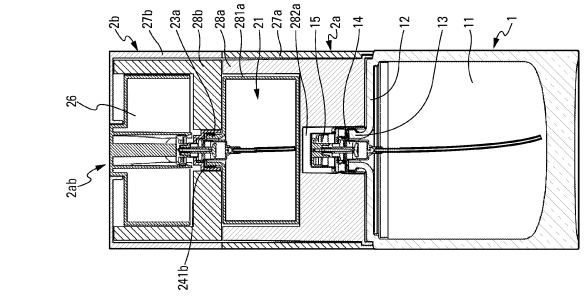
【図６】


152
15
151
14
1‴
2‴
11‴
12‴

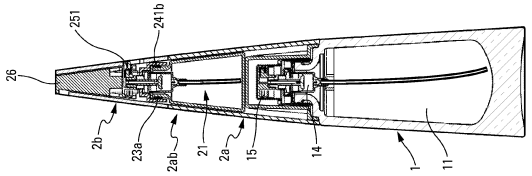
【図７】


23'''
2'''
21'''
22'''

【図８】

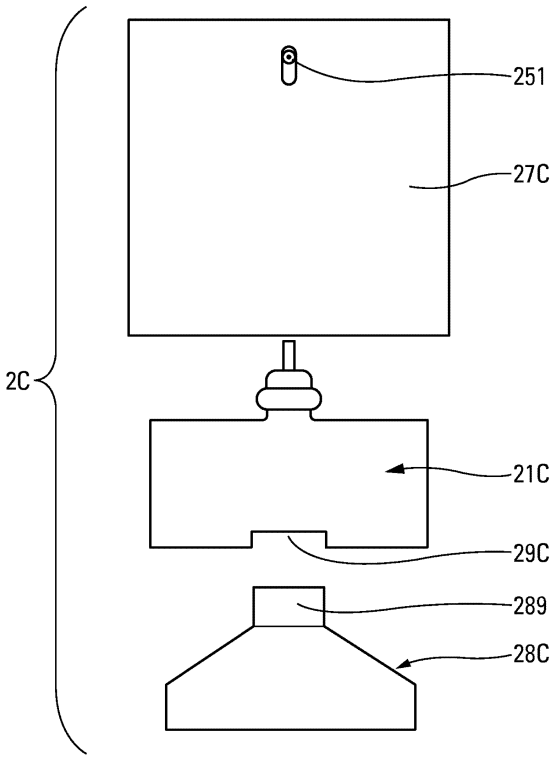

2b
27b
23a
28b
28a
281a
21
27a
282a
15
2a
14
12
13
11
1
26
2ab
241b

(b)


251
241b
26
2b
23a
2ab
21
2a
15
14
1
11

(a)

【図９】


251
27C
2C
21C
29C
289
28C

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/FR2020/050122

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B05B 11/00(2006.01)i; ***B05B 15/62***(2018.01)i; ***B65D 21/02***(2006.01)i; *B65D 83/56*(2006.01)n; *B65D 83/42*(2006.01)n; *B65D 83/68*(2006.01)n

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B05B; B65D

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

EPO-Internal, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 2017165696 A9 (BRUDER THOMAS [DE]) 15 June 2017 (2017-06-15) paragraph [0027] - paragraph [0027]; figures 1, 2	1-10
A	WO 2014110224 A2 (RICH BRANDS LLC [US]) 17 July 2014 (2014-07-17) figure 6	1-10
A	US 3330481 A (DEARLING HARRY S) 11 July 1967 (1967-07-11) column 2, line 32 - line 43; figures 1, 2	1-10
A	GB 2463716 A (ROBINSON PLC [GB]) 31 March 2010 (2010-03-31) page 7, line 8 - line 11 page 15, line 5 - line 9; figures 3(a)-3(c), 4	1-10
A	KR 20180002321 U (CF. LA PUBLICATION) 01 August 2018 (2018-08-01) paragraph [0004]; figures 1, 2	1-10
A	JP S5197068 U (CF. LA PUBLICATION) 04 August 1976 (1976-08-04) figures 1-4	1-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☑ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
06 October 2020	**20 October 2020**
Name and mailing address of the ISA/EP **European Patent Office** **p.b. 5818, Patentlaan 2, 2280 HV Rijswijk** **Netherlands** Telephone No. **(+31-70)340-2040** Facsimile No. **(+31-70)340-3016**	Authorized officer **Gineste, Bertrand** Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2015)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/FR2020/050122

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)			Publication date (day/month/year)
US	2017165696	A9	15 June 2017	BR	102016008292	A2	25 October 2016
				EP	3085459	A1	26 October 2016
				ES	2643447	T3	22 November 2017
				US	2016303603	A1	20 October 2016
WO	2014110224	A2	17 July 2014	CN	105008230	A	28 October 2015
				EP	2943413	A2	18 November 2015
				US	2015166221	A1	18 June 2015
				WO	2014110224	A2	17 July 2014
US	3330481	A	11 July 1967	DE	1642020	A1	30 March 1972
				GB	1140883	A	22 January 1969
				SE	315991	B	13 October 1969
				US	3330481	A	11 July 1967
GB	2463716	A	31 March 2010	NONE			
KR	20180002321	U	01 August 2018	NONE			
JP	S5197068	U	04 August 1976	NONE			

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (January 2015)

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Demande internationale n°
PCT/FR2020/050122

A. CLASSEMENT DE L'OBJET DE LA DEMANDE
INV. B05B11/00 B05B15/62 B65D21/02
ADD. B65D83/56 B65D83/42 B65D83/68

Selon la classification internationale des brevets (CIB) ou à la fois selon la classification nationale et la CIB

B. DOMAINES SUR LESQUELS LA RECHERCHE A PORTE

Documentation minimale consultée (système de classification suivi des symboles de classement)
B05B B65D

Documentation consultée autre que la documentation minimale dans la mesure où ces documents relèvent des domaines sur lesquels a porté la recherche

Base de données électronique consultée au cours de la recherche internationale (nom de la base de données, et si cela est réalisable, termes de recherche utilisés)
EPO-Internal, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERES COMME PERTINENTS

Catégorie*	Identification des documents cités, avec, le cas échéant, l'indication des passages pertinents	no. des revendications visées
A	US 2017/165696 A9 (BRUDER THOMAS [DE]) 15 juin 2017 (2017-06-15) alinéa [0027] - alinéa [0027]; figures 1, 2	1-10
A	WO 2014/110224 A2 (RICH BRANDS LLC [US]) 17 juillet 2014 (2014-07-17) figure 6	1-10
A	US 3 330 481 A (DEARLING HARRY S) 11 juillet 1967 (1967-07-11) colonne 2, ligne 32 - ligne 43; figures 1, 2	1-10

-/--

[X] Voir la suite du cadre C pour la fin de la liste des documents

[X] Les documents de familles de brevets sont indiqués en annexe

* Catégories spéciales de documents cités:

"A" document définissant l'état général de la technique, non considéré comme particulièrement pertinent
"E" document antérieur, mais publié à la date de dépôt international ou après cette date
"L" document pouvant jeter un doute sur une revendication de priorité ou cité pour déterminer la date de publication d'une autre citation ou pour une raison spéciale (telle qu'indiquée)
"O" document se référant à une divulgation orale, à un usage, à une exposition ou tous autres moyens
"P" document publié avant la date de dépôt international, mais postérieurement à la date de priorité revendiquée
"T" document ultérieur publié après la date de dépôt international ou la date de priorité et n'appartenant pas à l'état de la technique pertinent, mais cité pour comprendre le principe ou la théorie constituant la base de l'invention
"X" document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme nouvelle ou comme impliquant une activité inventive par rapport au document considéré isolément
"Y" document particulièrement pertinent; l'invention revendiquée ne peut être considérée comme impliquant une activité inventive lorsque le document est associé à un ou plusieurs autres documents de même nature, cette combinaison étant évidente pour une personne du métier
"&" document qui fait partie de la même famille de brevets

Date à laquelle la recherche internationale a été effectivement achevée	Date d'expédition du présent rapport de recherche internationale
6 octobre 2020	20/10/2020

Nom et adresse postale de l'administration chargée de la recherche internationale	Fonctionnaire autorisé
Office Européen des Brevets, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	Gineste, Bertrand

Formulaire PCT/ISA/210 (deuxième feuille) (avril 2005)

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Demande internationale n°
PCT/FR2020/050122

C(suite). DOCUMENTS CONSIDERES COMME PERTINENTS

Catégorie*	Identification des documents cités, avec, le cas échéant, l'indication des passages pertinents	no. des revendications visées
A	GB 2 463 716 A (ROBINSON PLC [GB]) 31 mars 2010 (2010-03-31) page 7, ligne 8 - ligne 11 page 15, ligne 5 - ligne 9; figures 3(a)-3(c), 4 -----	1-10
A	KR 2018 0002321 U (CF. LA PUBLICATION) 1 août 2018 (2018-08-01) alinéa [0004]; figures 1, 2 -----	1-10
A	JP S51 97068 U (CF. LA PUBLICATION) 4 août 1976 (1976-08-04) figures 1-4 -----	1-10

Formulaire PCT/ISA/210 (suite de la deuxième feuille) (avril 2005)

RAPPORT DE RECHERCHE INTERNATIONALE

Renseignements relatifs aux membres de familles de brevets

Demande internationale n°
PCT/FR2020/050122

Document brevet cité au rapport de recherche		Date de publication	Membre(s) de la famille de brevet(s)		Date de publication
US 2017165696	A9	15-06-2017	BR 102016008292	A2	25-10-2016
			EP 3085459	A1	26-10-2016
			ES 2643447	T3	22-11-2017
			US 2016303603	A1	20-10-2016
WO 2014110224	A2	17-07-2014	CN 105008230	A	28-10-2015
			EP 2943413	A2	18-11-2015
			US 2015166221	A1	18-06-2015
			WO 2014110224	A2	17-07-2014
US 3330481	A	11-07-1967	DE 1642020	A1	30-03-1972
			GB 1140883	A	22-01-1969
			SE 315991	B	13-10-1969
			US 3330481	A	11-07-1967
GB 2463716	A	31-03-2010	AUCUN		
KR 20180002321	U	01-08-2018	AUCUN		
JP S5197068	U	04-08-1976	AUCUN		

Formulaire PCT/ISA/210 (annexe familles de brevets) (avril 2005)

フロントページの続き

MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IR,IS,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW

Fターム（参考） PE14 PE23

3E067 AA03 AB81 AC03 AC11 BA01C BA03B BA09C BB08B BB11B BB14B EA17 EC07 EC11 EC31 EE19 FA03 FC01